

検索上位は“型”で決まる | ブログ初心者が最初に身につけたい構成の基本

「型」を使うと、記事はぐんと強くなる！

ブログ記事で検索上位を目指すために、大切な考え方があります。

それは「記事には“型”がある」ということです。

ここでいう“型”とは、ただの文章の形ではありません。

見出しタグ(hタグ)というルールに沿って記事を構成することを指します。

この“型”にそって文章を作ることで、

- 読者には分かりやすく
- Googleには伝わりやすく
- SEOにも強いブログ記事になります。

今回は、この「見出しタグ=型」について、

初心者の方でもスッと理解できるように解説します。

見出しタグってなに？

見出しタグとは、ブログの文章を「わかりやすく整理するためのタイトルのようなもの」です。

ブログは、ただ長い文章を書くだけでは読まれません。

途中で話の内容が変わったり、別のテーマに移るときは、「ここからこの話をしますよ」と伝える必要があります。

そのときに使うのが、見出しタグ(=hタグ)です。

見出しタグは教科書の「目次」と同じ

たとえば、教科書にはこんな構成があります。

- 第1章：日本の四季（大きなテーマ）
 - 春とは？
 - 夏とは？
 - 秋とは？
 - 冬とは？

このように、大きなテーマ（章）→ 小さな話（節）へと、内容が段階的に分かれていますよね。

ブログでもまったく同じように、見出しを使って構成を整理していきます。

見出しタグには「階層」がある

見出しタグは、6種類ありますが、よく使うのは主に3つです。

見出しタグ	読み方	使い方の例	説明
<h1>	エイチワン	記事のいちばん上のタイトル	1記事に1回だけ使います
<h2>	エイチツー	大きな話の区切り	重要なテーマ・セクションのタイトルに使います
<h3>	エイチスリー	<h2>の中の小さな話	詳細や具体例を示すときに使います

たとえばこんな構成です

——(例)——

<h1>子どもの成長に役立つ習い事</h1>

<h2>人気の習い事ランキング</h2>

<h3>1位：スイミング</h3>

<h3>2位：英会話</h3>

<h3>3位：ピアノ</h3>

<h2>習い事を選ぶときのポイント</h2>

<h3>子どもの性格に合っているか</h3>

<h3>続けやすい距離と料金か</h3>

——ここまで——

このように、「大きな見出し → 小さな見出し」と順序よく整理することで、読みやすく、分かりやすい記事になります。

見出しタグがSEOに強い理由

なぜ見出しタグ(型)が大切なのかというと、Googleが記事の中身を読み取るときに、この「型」を見て判断しているからです。

- <h1>が記事のテーマ
- <h2>が大きな話の柱
- <h3>が補足説明や具体例

このように、記事の内容が構造化(=整理されて)していると、検索エンジンが理解しやすくなります。

つまり、見出しタグ=SEOの土台とも言えます。

読者にも、検索エンジンにもやさしい記事にするために

初心者のうちは、記事をとにかく書くことに精一杯になりがちです。

でも、少しだけ「構成=型」を意識してみてください。

- 大きな話(h2)
- その中の説明(h3)

この形を守るだけで、文章にメリハリがつき、読者も読みやすくなります。

また、後から自分で読み返すときも内容を把握しやすくなるので、リライトもしやすくなります。

見出しタグは「型」です。上手に使えば、結果が変わります

- 見出しタグは、記事を整理するための「型」です。
- `<h1>`は記事全体のタイトルとして1回だけ。
- `<h2>`と`<h3>`を使って、大きな話→小さな話という順で整理しましょう。
- 見出しタグを正しく使うと、読者にもGoogleにも伝わりやすくなり、SEO対策にもなります。

初心者の方は、まず「話の区切りごとに見出しを使う」という意識からスタートすると、記事のクオリティが一気に上がります。

型を知り、型に沿って書くこと。それが検索上位への第一歩です。